

グループ各事業の安全に関する取り組み

バス事業

外部講習の実施(名鉄バス)

お客さまに安心してご乗車いただくため、毎年策定する教育計画に基づき実践的かつ効果的な教育を行うほか、外部の教育機関や施設も積極的に活用し、さらなる安全意識の向上、運転技術のレベルアップに取り組んでいます。

職場のリーダーを担う人材を育成できるよう、滋賀県の交通安全研修所「クレフィール湖東」で実車を使った訓練、および座学での研修もしています。



クレフィール湖東での研修風景

タクシー事業

事故防止に向けた取り組み

(名鉄タクシーホールディングス)

名鉄タクシーグループは、グループ全体で事故防止に向け取り組んでいます。事故削減に向けた運輸安全マネジメント体制の構築を目的に、グループ各社の事故責任者が参加し、四半期ごとに「名鉄タクシーグループ運輸安全会議」を開催しています。また、管理者から一人ひとりのドライバーに向け適切な指導を行えるよう、グループ各社の現場管理者が参加し、外部講師を招いての事故予防講義や事故映像共有など、具体的な指導内容の展開と共有のため「名鉄タクシーグループケーススタディ」を2ヵ月ごとに開催しています。

トラック事業

安全重点施策の設定(名鉄運輸)

名鉄運輸では、運輸安全マネジメントに則り、年度ごとに安全重点施策を設定しています。

<2024年度安全重点施策>

(1)	安全確認による運転事故防止 ①後事故防止に向けてのバック手順および指差呼称の実行 ②「電子ボイス」バック誘導や、バックセンサーの導入の拡充を計画 ③「ながら運転禁止(携帯・スマホ・ハンズフリー・タバコ等)」 AI感知機能による未然防止指導や、事故動画による教育動画の活用
	(2) 就業中の交通違反者の撲滅 交通違反者が公私にかかわらず指導強化、違反時の速やかな報告
(3)	労災事故防止 ①通勤災害撲滅指導 ②不安全者への即時指導 ③荷役器具の正しい使用(動画指導)とヘルメット着用による頭部保護

全国リフトコンテストの実施(名鉄運輸)

名鉄運輸は2024年5月、フォークリフトの安全品質を高めるため、初の全国リフトコンテストを開催しました。

フォークリフトの操作方法やルールの重要性を学び、商品事故防止につなげることを目的とし、予選を勝ち抜いた23人が技術を競いました。安全意識を広めるため、今後はグループ各社も含めた大会の実施を検討しています。



海運事業

津波避難訓練(太平洋フェリー)

2011年に発生した東日本大震災を教訓として、大地震が発生し、それに伴う大津波が襲来することを想定した訓練を実施しています。訓練は、入港直後に大震災が発生、荷役を中止し、お客さまを陸上の避難場所に避難させ、本船は直ちにエンジンを起動しその他の出港準備を行うという内容です。近い将来発生が予測されている南海トラフ地震に備え、東日本大震災以来毎年実施して有事に備えています。



航空事業

ヒューマンファクター安全研修(中日本航空)

人間の能力や限界、特性などのヒューマンファクターに関する知識や概念について学び、実践することでヒューマンエラーによるトラブルの減少、社員の意識向上および社内の安全文化の醸成を図っています。



安全教育施設「Safety Innovation Hall (SIホール)」(中日本航空)

過去の事故を知らない世代にも、事実を正確に伝え、風化させないために、SIホールを活用し、安全の重要性を認識できる教育を実施しています。

